

2020年度 学生ボランティアスタッフ活動報告（2） （「夢のつばさプロジェクト 10年間の歩み」から抜粋）

キャンプ・交流会以外の活動2

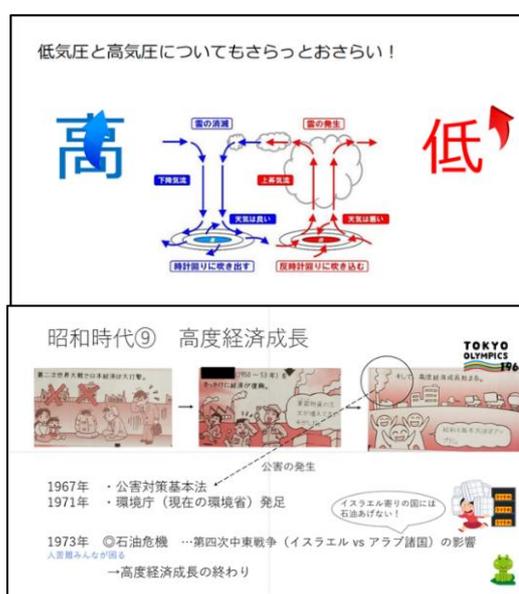
夢のつばさスタディ

2018年にスタートした、オンラインでの個人学習支援プロジェクトです。2018・19・20年度は中学3年生の希望者を対象に、主に講義・問題演習を通して受験勉強のサポートを行っています。

このプロジェクトは「勉強は人生の選択肢や可能性を広げるために必要なものであり、夢のつばさの掲げる『夢の応援』を本気で目指すならば、学習支援は今、必要不可欠なものである」という思いから立ち上がったものです。それまでキャンプや交流会でしか顔を見ることのできなかった子どもたちの、日常に入り込んでいく新たな試みでもありました。

プロジェクトが始まって、子どもたちからは「学校や塾では聞きづらいことも夢のつばさの学生なら聞きやすい」「苦手なところを集中的に教えてもらえたことが本番に活かした」、保護者の方からは「年の近い学生から教えてもらうことで子どもたちも受け入れやすいようだ」といった声を多くいただいています。一人一人に寄り添った取り組みは夢のつばさならではのものであり、これまでの歴史の中で築いた関係性が大いに活かされています。また子どもたちが目標に向かって努力する過程に携わり、子どもたちのことをより深く知ったり様々な感情を分かち合ったりする経験は、スタッフにとっても貴重なものになっています。

スタッフは、それぞれの進捗状況を随時共有して検討し合い、保護者への報告も行っています。今後も、「夢のつばさだから」できることを考え、取り組んで参ります。



「夢のつばさスタディ」の講義で使用されたスライド

夢のつばさタイムズ（夢のつばさ新聞）

これまで、直近のキャンプの振り返りやスタッフの大学生活・仕事についての記事を掲載した「夢のつばさ新聞」を二か月に一度、発行してきました。今年度はコロナウイルスの影響で会うことのできない状況が続いていることから、夢のつばさとのつながりをより強く感じてもらうため紙面をリニューアル、月に一度「夢のつばさタイムズ」と「夢カタログ」を発行し、各ご家庭にお送りしています。

「夢のつばさタイムズ」には、大学生スタッフたちの日常エッセイなどを収録しています。そして「夢カタログ」は、「スタッフの経験を紹介することで、子どもたちの視野が広がったり新しい視点を持てたりすること」を目指して、大学生の進路選択やキャリア観、大学での学びなどについて紹介する記事をまとめたものです。これは、「子どもたちが夢のつばさに求めるものは何か」を、改めて知るために、アンケートを行ったところ、子どもたちが、「夢のつばさで自分の将来に役立つ経験をしたい」「色々な経験をしている人たちの話を聞きたくて夢のつばさに参加している」など、自分の人生と夢のつばさでの

経験を結び付けて考えていることが明らかになって、「ただ楽しみに来ているだけではない」、と一同再確認して、こうした要望に応える一つの対応として行ったものです。子どもたちと直接会って話すことはできなくとも、様々な経験・多様性を持ったメンバーが集まっている強みを活かしてできることを考えています。

これまでの「夢カタログ」には、『『気になる』ならやってみよう!!』『『そうだ、留学しよう』『好きなことを極める!』『栄養学について』『やりたい仕事をやるためには?』など、大学生たちの気合の入ったタイトルを掲げた記事が並んでいます。

「気になる」ならやってみよう!
好きなことを極める!
「そうだ、留学しよう!」
栄養学について
やりたい仕事をやるためには?

「夢カタログ」タイトル集

バースデー

毎年子どもたちの誕生日に、スタッフからのお祝いメッセージを集めたアルバムやボックスを作成し贈っています。アルバムやボックスは、担当のスタッフが子どもたちそれぞれのイメージや好きなものに合わせて一つ一つ手作りしています。子どもたちからは「家に飾っているよ」「時々見て元気をもらっている」といった声が聞かれ、中には前述の「夢のつばさ新聞」といっしょにキャンプに持参する子もいます。



この他、子どもたちに対する活動としては、前記の交換日記、受験応援や卒業祝い、学生や外部の方に関わる活動としては新規スタッフ勧誘や被災地訪問、募金活動などを行っています。

オンライン企画の取り組みについて

新型コロナウイルスの流行のため、2020年度はキャンプや交流会が中止となってしまいました。そんな状況の中オンラインで子ども達とつながることが出来ないだろうかと、zoom や YouTube などのツールを活かしたオンライン企画を実施しています。

企画の様子



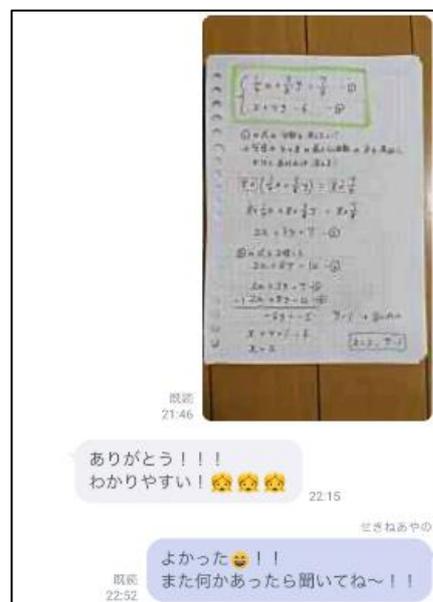
現在行っている企画は、5月に子ども達の様子をヒアリングした際の内容をもとに、学生・社会人スタッフで子ども達の状況に沿うことができるような企画内容を考えました。直接会って交流することが難しい状況ですが、子ども達に直接会うことのできる日を楽しみにしながら、オンラインでのつながりを通して、子ども達にできることをスタッフで協力して届けていきます。

オンラインもくもく会

週に1回、土曜日は14:00~16:40、日曜日9:00~10:00にzoomを用いて実施しています。会の最初に「この宿題を終わらせる」などの目標をみんなで言い合い、45分間はみんなで集中し、最後に目標がどれくらい達成できたかを報告し合う企画です。

- (1) それぞれの目標に向かって時間を決め集中して取り組むことで、目標に向かって努力・達成したという自信がつくこと、
- (2) 仲間といっしょに頑張る中で人とのつながりや安心を感じられることを目指して行っています。

参加した子どもたちからは「普段あまり勉強しないけれど、こういう機会があったからきちんと勉強できた!」「みんなとだから集中できた!」という声を聞くことができました。



質問チャットの様子

夢のつばさスタディ

① 質問対応 LINE

夢のつばさプロジェクトの公式LINEを用いて、勉強に関する質問を受け付けています。利用した子ども達からとても分かりやすかったという声を聞くことができました。

② 夢スタルーム

土曜日のもくもく会の後半の時間に「学問の楽しさを知ってもらうこと」を目指して、様々な内容の講義を行っています。子ども達はクイズなどを楽しんでいる様子が見られ、メモを取りながら参加している子もいました。

☆ 今までの内容

- 地図上から見える世界史
- 数列 QUIZ
- 外国語のコトバって楽しい!
- みんな元素でできている
- 確率を楽しもう
- 片手で31まで数える方法



リハの様子



スライド

夢のつばさラジオ



ラジオの様子

土曜日の20時～約20分間、ラジオチームがパーソナリティとなりゲストとお話している様子を、YouTubeチャンネルを利用し配信しています。子ども達となかなか会えない状況ですが、学生の声を聞いたり顔を見ることで夢のつばさの雰囲気を感じてもらえるような企画を目指しています。転職し移住した社会人になったスタッフによる、将来のヒントになるようなテーマなども行いました。

第10期副代表 関根彩乃